

第 49 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会

議 事 録

- 開催日時 令和 4 年 1 月 18 日 (火) 10:00～11:30
- 開催場所 奈良市役所 中央棟 6 階 正庁 (Web 会議システム併用)
- 出席者
 - 会 長 奈良市長 仲川げん
 - 副 会 長 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授 藤井聡
 - 委 員 近畿運輸局奈良運輸支局長 澤島弘幸 (代理) 中村洋一
 - 委 員 近畿地方整備局奈良国道事務所長 種蔵史典 (代理) 宮井達也 (web)
 - 委 員 奈良市自治連合会代表 尾形季久雄
 - 委 員 公益社団法人奈良市観光協会会長 乾昌弘 (代理) 箕倉弘昌
 - 委 員 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課長 児嶋一裕
(代理) 助岡保三郎
 - 委 員 近畿日本鉄道株式会社総合企画部長 山本恒平
 - 委 員 公益社団法人奈良県バス協会専務理事 井上景之 (Web)
 - 委 員 奈良交通株式会社乗合事業部長 大西秀樹
 - 委 員 一般社団法人奈良県タクシー協会専務理事 葛城滝男
 - 委 員 奈良県タクシー協会奈良市部会 代表 北浦光顕 (Web)
 - 委 員 奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長 今西宏 (代理) 橋義之
 - 委 員 奈良県奈良警察署長 中西和弘 (代理) 工藤敦
 - 委 員 奈良県警察本部交通部交通規制課長 今村浩三
 - 委 員 奈良県県土マネジメント部地域デザイン推進局次長 岡部共成
 - 委 員 奈良市都市整備部長 中原達雄
- (欠席)
 - 委 員 奈良県奈良土木事務所長 宮本慶三
 - 委 員 奈良県県土マネジメント部次長 松田浩之

1. 議事

◆事務局からの説明

- (1) 令和3年秋期の取組概要
- (2) 奈良中心市街地の渋滞状況と分析
- (3) 連携計画の目標達成状況
- (4) 令和4年度の取組内容（案）
- (5) 取組内容の変更（案）
- (6) 設置規約の改正（案）

◆審議内容（主な意見）（●：委員の意見 ○：事務局回答）

- (1) 令和3年秋期の取組概要
- (2) 奈良中心市街地の渋滞状況と分析
- (3) 連携計画の目標達成状況

- 奈良中心市街地の交通状況について、高天交差点の交通量が唯一減少しているが、三条通りへの迂回誘導の効果なのか。
- 今回の迂回誘導は油阪西交差点を起点としているため、高天交差点の交通量と関係があるとは考えにくい。
- 令和3年度は、ぐるっとバスは氷室神社前バス停をスキップ運行したとあるが、氷室神社前バス停に停車するすべてのバスのうち、ぐるっとバスが占める割合はどの程度か。ぐるっとバス以外のバスのスキップ運行や、バスベいの整備などの根本的な対策も考えられるが、何かその他の考えはあるか。
- 令和元年時点で氷室神社前バス停に停車するバスが全体で120本あり、そのうち48本、約4割がぐるっとバスであった。令和元年と比較して渋滞が緩和しているので、根本的な対策等は引き続き交通状況等の推移を確認しつつ、検討する必要があると考える。
- 路線バスの運行事業者である奈良交通としては、路線バスは観光客だけでなく、日常利用者も存在するため、路線バスの氷室神社前バス停を廃止することは難しい。まちづくりの中でバスベイ等を整備出来ればよい。観光シーズンのみ、氷室神社前バス停をスキップするのであれば、観光シーズンの利用状況を調査した上で検討できることがあるかもしれない。
- 氷室神社前のバスベイ整備は、周辺に店舗や神社があるので、用地確保が大きな課題と思う。
- 氷室神社前バス停に停車するバスのうち、4割程度がスキップ運行したことで大きな効果がでている可能性があるため、継続が望ましい。
- 公園内道路について、令和3年秋期は11時台が混雑している。大仏殿交差点のやや東側から渋滞が発生しているように見える。公園内道路における混雑の要因は、例年氷室神社前であるが、大仏殿交差点付近が渋滞の起点であるように見えるこの件について、どう考えたらよいか。
- 令和3年秋期に滞留が発生している11時台は、大仏殿交差点からの渋滞長が500mと最大になる時間帯である。同時時間帯に沿道駐車場も満車となっており、その影響もあると考えられるが、具体的な要因については確認、検討ができていない。
- 氷室神社前の東行き車線の混雑が解消され通行しやすくなったため、大仏殿交差点において混雑が発生していることも考えられる。8時から14時の「公園内道路の民間駐車場への出入り」による後続車両の停車時間の合計が36分であり、令和元年、令和2年と比較して大幅に増加しているにも

関わらず、渋滞が減少していることはどのように解釈すべきか。

- 令和 3 年秋期は、「民間駐車場への出入り」や「歩行者横断」による後続車両の停車時間が増加している。令和元年は公園内道路に車両が長時間にわたり滞留したことで、これらの要因で停車したとカウントされなかったが、令和 3 年秋期は、スムーズに車が流れているため、「民間駐車場への出入り」や「歩行者横断」の要因による後続車両の停車が明確になるといったカウント上の問題であると考えられる。
- 測定誤差であるため、あまり深刻にとらえなくて良いということに理解した。
- 対策をした効果が出た結果、別の課題が顕在化することもあると思うので、新たな課題に対して、今後どう対応するか議論出来ればよいと考える。

(4) 令和 4 年度 of 取組内容 (案)

- ポスターやチラシなどの広報は、西日本旅客鉄道株式会社の協力で各駅で実施しているとのことであるが、近畿日本鉄道株式会社も協力できる場所もあるかと思う。この点については、事務局と相談させて頂きたい。また、公共交通での来訪を促す YouTube 動画の広告配信先をどのように設定しているのか知りたい。出発からの選択が重要である。
- 今回、主に公共交通の利用が想定される大阪圏を中心に配信している。引き続き、効果検証をしながらターゲットを明確にしていく。
- 4 つの YouTube 動画が公開されており、うち 1 つの動画が 36 万回再生となっているが、「いいね」は少ない。広告代理店などに視聴回数を一定数確保するなどといった内容で発注しているのか、もしくは自然に閲覧されているのか。発注している場合は、どういった契約をしたのか。
- 広告業者に 60 万回再生を目標に契約している。
- 実際に一般の人はほとんど閲覧しておらず、広告配信によって視聴回数を稼いでいる可能性も考えた方がいいのではないか。それほど話題になるような動画でもないため、想定する対象に本当にリーチしているのか確認する必要がある。新型コロナウイルスの影響で、交通事業者は非常にダメージを受けているため、公共交通利用促進はその支援となることも念頭において、視聴者に出発地点から公共交通の利用を決定してもらえようような施策になると良い。
- 公共交通利用者はリモートワークなどが進み、奈良交通では定期券の予約が減少している。今後の公共交通利用者は新型コロナウイルスが流行する以前の 8 割程度になると考えている。そこで、定期券の魅力向上のため、区間式ではなく金額式にしてどこでも乗車可能となる事業を検討している。
- 奈良交通では、自宅からバス停まで距離があるという問題を解消するため、「ザ・ビッグエクストラ大安寺店」、「M!Nara」の 2 つの施設に協力して頂き、施設内の駐輪場をサイクル・アンド・バスライドとして無料で駐輪場を提供して頂く社会実験を 2 月 1 日から半年間実施する予定である。通勤手段が公共交通から自家用車になりつつある状況を抑制したいと考えている。日常交通に対する取組、いわゆるエコ通勤、公共交通での通勤への呼びかけなどを続けて頂きたい。
- 奈良公園方面から大阪方面への帰宅車両を大宮通りから三条通りへ迂回誘導することについて、観光客のみを対象とするのであれば問題ないが、道路は地元の方も利用している。東西方向の交通だけでなく、例えば大和西大寺方面から南下する車両や、西ノ京方面から北上する車両等の合流にも配慮すべきである。何を優先するかは重要であるため、一度ご検討

頂きたい。可能であれば交通の利便性を図りつつ、地域住民の交通も忘れずに検討していただくとうありがたい。

- 観光目的の車両にのみ着目してしまっていることは否定できない。地域住民の通過交通も含めて道路の利用者は多様である。地域住民の理解と協力がなければ進まない事業である。
- 観光シーズンの交通量が多いため観光に着目しているが、地域住民の利用も考慮して調整を図っていききたい。様々なデータから、警察等とともに検証を進めていききたい。
- 朱雀門ひろば南側に新しく整備された「奈良めぐり平城宮跡前駐車場」は P&R（パーク・アンド・ライド）の施策に含まれていない。現状、収容台数は 130 台であるが、未利用地も含めれば 500 台程度は収容可能ではないか。「奈良めぐり平城宮跡前駐車場」を P&R 駐車場として位置づける計画があれば良いが、どのように考えているか。また、「奈良めぐり平城宮跡前駐車場」は、キャンペーンの対象に含まれていないが、含めない理由があるのか。
- 「奈良めぐり平城宮跡前駐車場」は、暫定で運用している。奈良県地域デザイン推進局では、この土地の活用方法を検討しており、将来的に駐車場規模をどれだけ確保できるかは今後検討することになる。また、現在の駐車場は平城宮跡歴史公園への来場者用として確保しており、P&R 駐車場として位置付けた場合に、容量が足りるかどうかなども確認する必要があると考える。
- 将来的な利用計画はあると考えるが、次の春や秋に舗装はしなくても未利用地を活用し無料の駐車場とすれば、中心市街地に進入する観光目的の車両の流入抑制ができるのではないか。「奈良めぐり平城宮跡前駐車場」は、ぐるっとバスのバス停も設置されているので実施してはどうか。
- 未利用地が活用できるかどうかは、今後の計画もあるので、関係各所と調整を図りながら活用方法について検討したい。
- 日常交通のモーダルシフトも必要である。エコ通勤事業所認証制度を進めていくことが、モーダルシフトを進めるうえで重要ではないかと思う。認証事業所を増加すると、モーダルシフトも進むこととなる。どのような状況か教えて頂けないか。
- エコ通勤事業所認証制度は近畿運輸局の取組のため、本局に確認したうえで改めて回答する。
- 一般に、奈良への来訪を検討している人が、奈良市や奈良県の観光の HP を観ることはあるが、役所が作成する情報媒体は、「渋滞で混雑しているから電車で行こう」とはならない内容になっている可能性が高い。ホームページをみた人が、「自家用車ではなく、公共交通を利用しよう」と思えるデザインであるといい。それが結果として交通事業者への支援や渋滞解消にもつながる。「奈良を楽しむなら公共交通を利用したほうがいい」というメッセージを実施することが望ましい。

(5) 取組内容の変更（案）

(6) 設置規約の改正（案）

異議なし

2. 閉会

以上